

鹿児島大学

【N080 鹿児島大学】

	鹿児島大学 工学分野
学部等の教育研究 組織の名称	工学部（第1年次:440 第3年次:20） 大学院理工学研究科（M:286 D:24）
沿 革	昭和20（1945）年 鹿児島県立工業専門学校創立 昭和24（1949）年 新制鹿児島県立大学工学部設置 昭和30（1955）年 鹿児島大学工学部に移管 昭和43（1968）年 大学院工学研究科修士課程を設置 平成6（1994）年 大学院工学研究科博士後期課程を設置 平成10（1998）年 大学院理工学研究科を設置
設置目的等	<p>鹿児島大学工学部・理工学研究科の母体の一つである鹿児島県立工業専門学校は、工業専門の理科系学徒の教育を目的として昭和20年に設置された。</p> <p>新制大学の発足時に、鹿児島県立工業専門学校は鹿児島県立大学工学部となり、昭和30年に国立へ移管され、鹿児島大学工学部が設置された。</p> <p>昭和43年、広い視野に立って精深な学識と研究能力を養い、かつ高度の応用的能力を展開させることを目的に工学研究科修士課程を設置した。</p> <p>平成6年、十分な基礎学力と幅広い視野を持つ研究者・高度技術者を育成することや教育研究を通じて地域社会に寄与すること等を目的として博士課程を設置した。</p> <p>平成10年に、理学及び工学分野の教育研究の一層の充実を図り、科学の基礎的な研究を基盤にした独創的な科学技術の開発を着実に進め創造力のある人材を育成し、大学としての社会に果たすべき責任と役割を実行することを目的に工学研究科を理工学研究科に改組した。</p>
強みや特色、 社会的な役割	<p>鹿児島大学においては、進取の気風にあふれる総合大学として、学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め、自主自律と進取の精神を有する人材の育成を目指すとの理念のもと教育研究に取り組んでおり、以下の強みや特色、社会的な役割を有している。</p> <p>○ ものづくりに係る工学の面白さを伝承するため、桜島が育む大自</p>

然への畏敬の念の下で、学士課程から博士前期課程へと学生を鍛える教育を、対象アイテムの多様性に対応する学科・専攻編成で展開し、ものづくりで要求される研究開発者、生産技術者、生産管理者、システムエンジニアなどの高度な技術者養成を具現化する役割を果たすとともに、博士後期課程では、科学技術や学術活動の基盤となる確かな研究能力をもって社会に貢献できる人材育成の役割を果たす。

- シリコンバレーを中心とする海外研修、国際的な通用性のある認定プログラムを積極的に推進してきた実績、学生・教職員の国際交流活動や大学院における全学横断的教育プログラムを通じた学問の学際化・融合化の取組を生かし、グローバルに活躍する高度専門職業人を育成する学部・大学院教育を目指して不断の改善・充実を図る。
- 環境・エネルギーや医療工学をはじめとする工学の諸分野の研究を推進しつつ、火山活動・集中豪雨・台風・地震・津波等の自然の摂理に係る防災・減災を図る地域の要請に応える研究や島嶼及び南九州地域が包含する諸課題に関連するテーマを中心とした研究に取組むことにより、地域社会の安全と発展、更には我が国の工学の発展に寄与する。
- 科学技術への興味を育む小中学生向け公開講座や初等中等教育への出前授業、また地域の産業人材向け講習会や社会人向け公開講座等を積極的に展開するとともに、連携・交流協定等の実績を生かし、鹿児島県とその周辺地域における自治体や企業等に対する社会貢献の取組及び社会人の学び直しへいっそうの対応を図り、知の拠点の役割を果たす。